

# 医療提供対応状況について（介護施設）～詳細～

1. 施設名	特別養護老人ホーム サン・グリーンホーム		
2. 住所	〒	807-0831	
	八幡西区大字則松103番		
	TEL	093-602-5011	
	FAX	093-602-5813	
3. 地区	八幡西区	則松	
4. 入所相談対応者	公開	①氏名	藤原 大樹
		①職種	生活相談員・統括部長
		②氏名	—
		②職種	—
5. 施設種別	特別養護老人ホーム（地域密着型含む）		
	【補足】『その他』（詳細）	—	
6. 施設の居室 タイプ・ベッド数	従来型		
	【補足】『従来型』（詳細）	①個室	あり
		②ベッド数	8床
7. ショートステイ	なし	【補足】 R3年4月より隣接のユニット型特養に移転	
8-1. 看護職員の 雇用状況	雇用している		
	①常勤	4人	
	②非常勤	—	
8-2. 看護職員の 夜勤体制	公開	オンコールで対応	
		【補足】	
		①『オンコール対応』時間	19:00～07:30
②『その他』（詳細）	—		
9. 施設の入所基準 ～介護度～	×	自立	⇒【補足】 — (年齢)
	×	要支援1	
	×	要支援2	
	○	要介護1	
	○	要介護2	
	○	要介護3	
	○	要介護4	
	○	要介護5	



当掲載内容は2022年2月に実施した調査回答を基にしています。  
最新の実態は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム サン・グリーンホーム			
10-1. 施設の入所基準 ～若年性認知症～	公開	若年性認知症患者の受入に係る相談対応の可否 ○		
10-2. 施設の入所基準 ～その他～	公開	受入の可否		
		○	生活保護	
		×	身元保証人がいない	
10-3. 施設の入所基準 ～医療対応状況～	対応可能な項目について			
	A	B	※A…入所時、B…ショートステイ時	
	○	—	経管栄養（胃瘻・腸瘻）	
	×	—	経管栄養（経鼻）	
	×	—	CVポート	
	×	—	中心静脈栄養	
	○	—	血糖・インスリン注射	
	×	—	点滴静脈輸液	
	○	—	褥瘡処置	
	○	—	膀胱留置カテーテル	
	×	—	膀胱瘻	
	○	—	導尿（自己のみ）	
	×	—	気管切開	
	×	—	人工呼吸器	
	○	—	酸素吸入	
	×	—	腎瘻	
	○	—	浣腸・摘便	
	○	—	ストーマ（消化器・尿路）	
	×	—	血液透析	
	×	—	腹膜透析	
	○	—	感染症（MRSA・疥癬他）	
	○	—	神経難病	
	○	—	喀痰吸引	
	—	—	×	喀痰吸引（夜間）
	—	—	○	喀痰吸引（昼間）
	×	—	—	終末期
	—	—	—	麻薬を用いた疼痛管理
—	—	—	施設にて看取り（10-4.実績数）	
—	—	—	状態悪化時、病院搬送	



当掲載内容は2022年2月に実施した調査回答を基にしています。  
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム サン・グリーンホーム			
10-4. 施設の入所基準 (看取り実績)	公開	昨年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の看取り実績数 — 件		
11. 手話及び 外国語対応	対応職員の有無など			
	手話	いない	【補足】『いる』(詳細)	
			①職種: — ②人数: —	
	英語	いない	【補足】『いる』(詳細)	
			①職種: — ②人数: —	
	その他 対応可能 言語	いない	【補足】『いる』(詳細)	
①種類: — ②人数: —				
12. 食 事	対応の可否など			
	食形態	○	ソフト	
		○	ミキサー	
		○	とろみ	
		×	ムース	
		○	きざみ	
	治療食	×	分割食	
		×	肝臓食	
		○	腎臓食	
		○	糖尿病 ⇒【補足】(詳細) 1,400kcal	
		○	塩分制限 ⇒【補足】(詳細) 6グラム	
	—	○	アレルギー除去食	
		○	嗜好による個別対応	
13. リハビリ対応	公開	リハ加算	算定している	
		リハビリ 職員数	PT	1人
			OT	—
			ST	—
14. 入浴(浴槽)	○	個 浴		
	○	機械浴 ⇒【補足】	車いす ○	
			ストレッチャー ×	
			リフト ×	



当掲載内容は2022年2月に実施した調査回答を基にしています。  
最新の実績状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム サン・グリーンホーム	
15. 透析患者の 受診送迎	公開	対応していない
16. その他		公開
17. 施設の特徴	<p>入所時、利用者の主治医を事業所嘱託医等に変更している？ 利用者の状況等に応じてケースバイケースで対応する</p> <p>定員40名で多床室（4人）8部屋と個室8部屋の特養です。 20名で1フロアの為、居室も食堂等の共有部分もゆとりある居住スペースになっています。日頃の生活介助だけでなく、季節の外出行事やセラピューティックケア等、生活の楽しみが提供できるように努めています。</p>	



当掲載内容は2022年2月に実施した調査回答を基にしています。  
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。